

キッズベースキャンプ  
アルファ

# まなびプログラムのご案内

---

キッズベースキャンプ $\alpha$

2024年度版



「まなびプログラム」では、子どもたち自身が伸びようとする芽を育みます。KBCαのオリジナル講座「コミュニケーション講座」をはじめとする多彩な11種の科目を開講しております。レギュラー会員は、レギュラー講座を4年間継続して受講いただけます。(受講料は月会費に含む) オプション講座は、追加で受講が可能な講座です。

子どもたちのまなびの土台を育む

# まなびプログラム



「コミュニケーション講座」で大切にしていることは「自分で考えること」。大人が求める「正解」を探すのではなく、子どもたちの考えは「正解」として認め、自己肯定感を育む講座を行っています。「プログラミング・ロボティクス」や「学習プログラム」は、その分野に特化したスクールと提携し、より専門性の高い講座をKBCαで受講いただけます。



# コミュニケーション講座



レギュラー講座

レギュラー講座	回数	対象
コミュニケーションベーシック	月2回	初級（1年目）向け
子どもスピークアップ		中級（2年目）向け
子どもスピークアップアドバンス		上級（3年目）向け ※子どもスピークアップ受講後
コミュニケーションマスター		上級（4年目）向け ※子どもスピークアップアドバンス受講後



オプション講座

オプション講座	回数	対象
子どもライブラリーⅠ	月2回	1年生～2年生向け
子どもライブラリーⅡ		2年生～4年生向け (子どもライブラリーⅠ受講後)

◆レギュラー講座・・・レギュラー会員の月会費に含まれる講座

◆オプション講座・・・追加受講が可能な講座(別料金)

## ENGLISH

## プログラミング・ロボティクス

### ベルリッツ・キッズ×KBC



オプション講座

(2レベル/年44回)

### KBC'LIVE'ENGLISH



オプション講座

(4レベル/年40回)



オプション講座

(2レベル/年20回)

## 学習プログラム



オプション講座

ピグマキッズ×KBC (個別/毎週)



オプション講座

計算マスター (個別/年44回)



オプション講座

数学パズル・日本語パズル  
(個別・無学年式/年44回)

◆店舗によっては開講しない講座がございます。

# コミュニケーション講座



## コミュニケーション力を 身につけるには

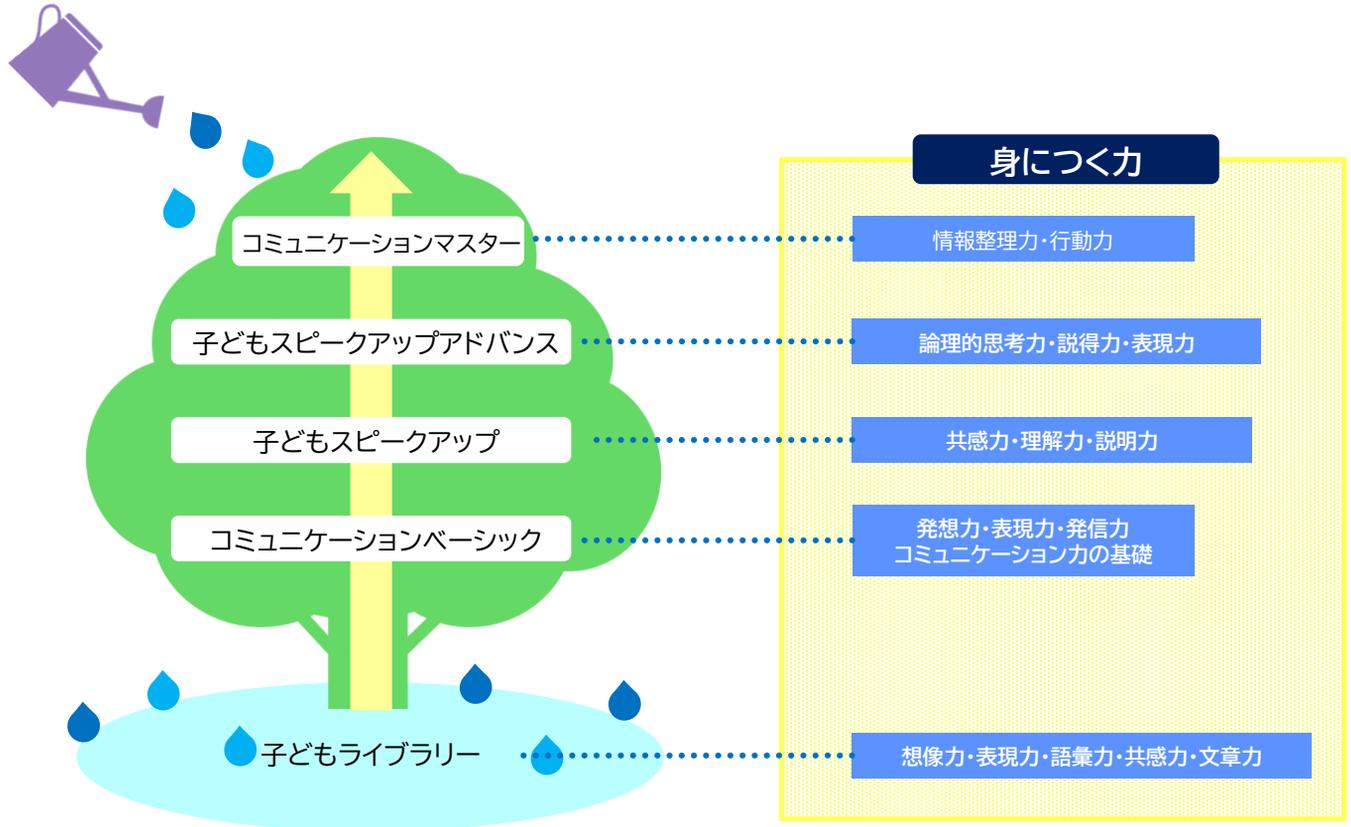
子どもの頃から発言する機会をもち、それが受け入れられる環境の中で小さな自信を積み重ねていくことが大切です。コミュニケーションベーシックでは、まずお子様の意見を肯定し、自己肯定感を養い、発表することの楽しさを感じられるように授業を進めます。そして、意見と理由をセットで発信できることを目指して、発想力と表現力を育みます。

## コミュニケーション講座では

コミュニケーション力を育むために必要な要素を体系的に細分化し、お子様の成長に合わせて身につけられるよう、段階的な構成としております。1年目は発信する楽しさを学ぶ「コミュニケーションベーシック」、2年目は、相互コミュニケーションであるディスカッションに挑戦する「子どもスピークアップ」、3年目以降は社会性の高いテーマを取り上げディベートやスピーチに挑戦したり、SDGsをテーマに地域社会への発信を行う講座を展開しています。



# コミュニケーション講座の構成



## コミュニケーションベーシック

コミュニケーションベーシックでは、すべてのコミュニケーション講座において、基礎となる力を養います。授業では自分は「**どう思うか(意見)**」「**なぜそう思うか(理由)**」を様々なテーマに対して考えていきます。説得力のある理由づけをスモールステップで学び、プレゼンテーションにも挑戦します。ここで学んだことは次のレベルの「子どもスピークアップ」などで、より実践的なコミュニケーション力の育成に繋がっていきます。

## 子どもスピークアップ

子どもスピークアップでは、コミュニケーションベーシックで得た知識・能力をベースに、**他者の異なる価値観や思考に意識を向け、それに対し自分の考えを的確に表現することができるコミュニケーション能力**を育成します。子どもたちの学校での集団生活をはじめ、将来の社会生活の中における議論でも活躍することができる発信力の基盤を養います。

## 子どもスピークアップアドバンス

子どもスピークアップアドバンスでは『**人の心を動かす発表**』ができるようになることを目標とします。授業では、文章を『読む』のではなく**自分の考えを『伝える』ことを意識した発表**を繰り返し挑戦していきます。また、集団でのディスカッションでは、新たにディバートの手法も学習し、さらに**社会性の高いテーマについて**、論理的な議論を展開。相手の反応も見ながら自分の意見が言えることはもちろん、社会的な現状なども踏まえながら自分の考えをブラッシュアップし、**多くの人々に影響を与えられるような発信力の素地**を養います。

## コミュニケーションマスター

コミュニケーションマスターでは、3年目までに学習したスキルを統合したチームプレゼンテーションに挑戦します。リサーチ活動を通し社会課題を探究し、教室の外に出て活動する「**ソーシャルアクション**」を実施。「社会の一員として、自分ができること」を体現し、周りに影響を与えるコミュニケーション力を育みます。チームでの学びを重視し、それぞれの役割を意識しつつ、**子ども達が自発的にプロジェクトを動かす、成長していく過程を大切にします**。3年間で培ったコミュニケーション力をフル活用した発展講座です。

※コミュニケーション講座を受講される場合、講座の発表用動画やコンテストでお客様の名前が表示されることに同意いただきます。  
※23年度より、スピーチコンテストは有料での参加となります。詳細は、毎年1月頃にご案内いたします。

# 子どもライブラリー



## 本が大好きになるために・・・

本の世界は、文字で書かれた二次元の世界です。

子どもライブラリーは、その世界を子どもたちの想像力や感性で三次元の世界にしていきます。

授業では楽しみながら、登場人物の気持ちになって物語の世界を読み解いていきます。文字を追うだけの読書から、より深い世界を子どもたちに体験してもらい、本が大好きになるような授業を行います。

「子どもライブラリー」は「コミュニケーションベーシック」「子どもスピークアップ」と合わせて受講することにより相乗効果が高まります。



# 子どもライブラリーで身につく力

## ▶ 本の世界を表現する

表現力



子どもライブラリーでは本の世界をいろいろな方法で子どもたちの自由な感性で表現します。

例えば、本の内容を絵で表現したり、クッキングや主人公のキャラクターの制作、ボードゲームを作るなど、楽しみながら本の世界をより深く理解していきます。

## ▶ 登場人物の気持ちを考える

想像力

共感力



登場人物になりきって、その気持ちを想像して手紙を書いたり、制作を行います。例えば、お話にでてくるクレヨンになりきって、自分のクレヨンを見ながら、自分宛の手紙を作成したり、場面ごとの主人公の気持ちの変化を自分の言葉で表現するワークシートの作成を行います。

国語の授業ではないので、子どもたちが感じた気持ちを大切に、自由な言葉で表現してもらいます。

## ▶ 文章を書く

文章力

語彙力



講座では手紙や物語の続きの創作、本の帯の制作など、文章を書く機会が沢山ありますので、自然に文章の構成力や語彙力が身につく。

1年目の最後には、原稿用紙200文字の読書感想文が書けるようになります。また、2年目の後半では、グループで創作絵本の制作を行います。登場人物の設定や物語としての起承転結など、グループで話し合いながら進めていきます。

## ▶ 本を読む

語彙力



課題図書以外でも、多くの本に触れ、本を好きになっていただけるよう、「ライブラリーカード」をご提出いただいています。自宅や講座以外のKBCαの時間、学校などで読んだ本の感想を「ライブラリーカード」に書いて提出すると、ポイントを付与する仕組みになっており、ポイントがたまるとオリジナルグッズをプレゼントします。子どもたちが楽しみながら本を読む習慣がつかます。

# 子どもライブラリー年間シラバス

講座内容は変更になる場合がございます。

月	内容	月	内容
4月	気持ちを表す言葉のカードを用いながら、登場人物の気持ちの変化を追っていきます。また、好きな場面を短い文章でまとめ「本の帯」を作成します。	10月	物語を読み、主人公が探検した地図を書きだしたり、実際に探検地図を作ります。また、登場人物ごとに音読の読み分けに挑戦します。
5月	本に登場する想像の世界の色を自分の感性で表現しイラストに色塗りをします。また本の主人公になりきって、登場人物に手紙を書きます。	11月	場面ごとに主人公の心情を考えます。また、あらすじの理解と自分の感想のまとめとして、本の紹介をする「本の帯」を作成します。
6月	絵本に用いられている絵の技法を体験し、本の世界を表現します。また本の続きを想像し、短いストーリーを作成します。	12月	「クリスマス」を題材にした課題図書を用いて、本の世界を工作で表現します。また、サンタさんへの手紙を書くことで、表現力を養います。
7月	動物が主人公の絵本を用いて、場面ごとに動物の心情を想像し、言葉で表現します。また、主人公になりきって、他者の視点で考える力を身につけます。	1月	これまで行ってきた音読から更にステップアップし、聞き手に思いが伝わる工夫をしながら、絵本の朗読劇に挑戦します。
8月	みんなでかるたづくりに挑戦します。楽しみながら、書く力・まとめる力・創作力を高めていきます。	2月	3月に行う読書感想文の作成に向けて、簡単な絵感想文に挑戦します。
9月	自分のクレヨンから、そのクレヨンの性格や気持ちを想像します。クレヨンになりきり、自分宛の手紙を作成します。	3月	本に登場するキャラクターを制作し、本の世界を表現します。また、1年の集大成として、200字程度の感想文を書きます。

# KBC 'LIVE' ENGLISH



し



## KBC 'LIVE' ENGLISHの

### アプローチ

キッズベースキャンプが持つ日常保育のノウハウ「コーチング」の考えをふんだんに取り入れたものです。一言でいえば、「いかに子どもたちが楽しく英語と触れ合えるか」を重視しています。「その単語知ってる！」「英語で伝わった！」そんな小さな自信の積み重ねが、子どもたちの好奇心や知識欲を自然に高め、「もっと知りたい」「もっと話したい」という気持ちにつながるように講座を展開していきます。

### 伝えたい気持ちを大切にする

第2言語環境における、子どもたちの発話を促すために必要不可欠なのは、「安心安全な心理環境」です。そのため、KBC∞のプログラムでは子どもたちに対し「英語しか話してはいけません！」という決まりは設けず、「伝えたい気持ちがあれば日本語も使っていいんだよ」という子どもの目線に立ってプログラムデザインを行いました。



# FUN-Based Learning

## 「楽しい！」が基盤の学びの環境

### 楽しいを生み出す2つのアプローチ

#### まなびプログラム

「知ってる！」を増やす、学びの時間

### Academic Approach

「Academic Approach」では、英単語やフレーズなど、表現の幅を広げる基礎知識を学びます。子どもたちの「知ってる！」を増やす、インプットの時間です。英語の絵本の読み聞かせや歌をレッスン冒頭に取り入れ、子どもたちの興味を引き付けます。学習はカードやワークシートを使って進めますが、理解・定着を促すためにゲームなど様々なアクティビティも用意しています。

#### イベントプログラム

「やってみたい！」に答える、表現の時間

### Immersion Approach

「Immersion Approach」では、「Academic Approach」で学習した英語を楽しみながら使用・発信することに重きを置いています。子どもたちの、英語を「使えた！」という自信につなげるためのアウトプットの時間です。アートや音楽、ダンスなど「発信や表現」を通して、自然なコンテキストの中で楽しく英語を吸収します。

### 4つのレベルコース

K

Class

#### Pre Learner Course (1年目)

絵本の読み聞かせや音楽、体を動かすアクティビティをふんだんに取り入れ、お子様の英語に対する「楽しい！」を育みます。全体のプログラムは聞く・話すにフォーカスされており、母語と同じ言語習得環境を作り出します。履修単語レベルの目安は英検Jrゴールドです。

B

Class

#### Beginner Course (2年目)

2年目からはフォニックスを取り入れた英語の読み・書きにも積極的に取り組み、お子様の発信力を伸ばします。講師から受動的に情報を受け取るだけでなく、自分の好きなものの紹介など、簡単なアウトプットの楽しさを学びます。履修単語レベルの目安は英検5級です。

C

Class

#### Intermediate Course(3年目)

年齢的にも幅広い活動が可能となり、より複雑な創作・表現活動を通して、英語を「ツール」として理解していきます。「読む・聞く・書く・話す」の4技能はもちろん、過去形や未来形など、文法の学習がスタート。扱うトピックも自分のことだけではなく、家族や友達など、身の回りのコミュニティに広がります。履修単語レベルの目安は英検4級です。

∞

Class

#### Advance Course (4年目)

扱うテーマには社会性が増し、環境問題や時事ニュースなど身近な社会に関するトピックに取り組みます。英語劇の企画など創作活動も主体性を持って取り組めることを目指します。現在進行形や完了形なども使われ始め、幅広い表現力を身に付けることを目指します。履修単語レベルの目安は英検3級です。



# ベルリッツ・キッズ×KBC



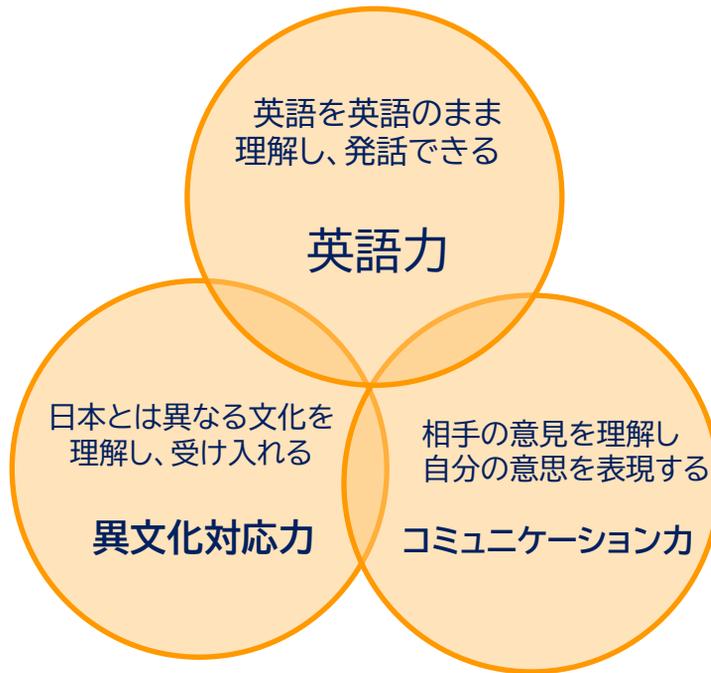
## お子様に「英語+α」の力を

「ベルリッツ・キッズ×KBC」では、130年以上の歴史を持ちグローバル企業として世界70カ国に展開するBerlitzの外国人講師によるレッスンを受講できます。授業では、単に「英語ができる子どもを育てる」ことではなく、将来グローバル社会で活躍していくための「英語+α」が身につくようなレッスンを行います。

レッスンはすべて英語で行い、常に英語を英語のまま理解し、無意識に英語で反応する思考回路を身につけ、会話と思考を直結させ「言語」として英語が身につくように指導を行います。



# ベルリッツ・キッズ×KBCで学べる3つの力



## レベル別カリキュラムと学習する語彙・トピック

お子さまの身近な日常生活をテーマにし、会話のなかで単語やフレーズを学びます。楽しみながら英語への興味関心を育み、自然と発話できるようになります。楽しみながらリスニング(Input)とスピーキング(Output)を繰り返し、お子さまが持つモノのイメージと英語を結びつけます。単語だけではなく、フルセンテンスで発話できるようにします。アルファベットの書き方やフォニックスなど、読み書きの基礎も身につけます。

Red

### 学習内容・テーマ

- 家での過ごし方
- 学校での過ごし方
- 日々の活動(平日や週末の過ごし方など)

### できるようになること

- 1週間の予定について説明ができる
- できることとできないことを伝えられる
- 詳細について質問や回答ができる

Blue

### 学習内容・テーマ

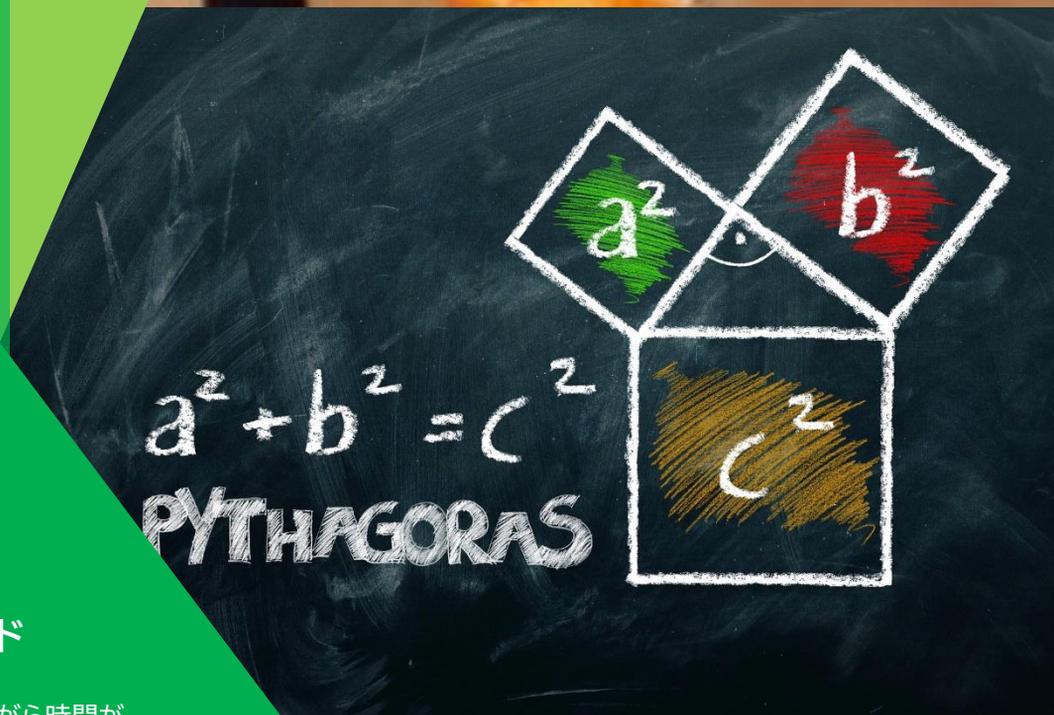
- 季節の気候
- 季節の服
- 世界の四季

### できるようになること

- 季節、気候や服装について話せる
- 体調について説明ができる
- 理由をしっかりと説明できる



# プログラミング・ ロボティクス



## STEMONのメソッド

子どもたちは、ワクワクしながら時間が経つのも忘れるほど熱中して取り組む時、まなびが最も豊かになり、無理なく自然に内容を理解することができるようになります。

科学、技術、数学を主体的に楽しく学ぶ教育プログラムがSTEMONメソッドです。プログラミングでは、「1つの事象を細分化し説明する力」「コツコツと小さな作業を積み重ねていく力」といったプログラミング的思考力を身につけます。エンジニアリングでは物理の基礎となる原理を学び、ものづくりを通して自ら考える力を身につけます。すべての授業を通して、理数的思考力はもちろんですが、その中で、失敗、振り返り、再チャレンジという過程を繰り返し、自分で課題をクリアしていく力を育みます。





## 育みたいスキル

「STEMON」のプログラムでは、「繰り返し復習や暗記」よりも「感覚や実体験を通して学ぶ」を重視しています。「創りたい」と夢中になり、トライ&エラーを楽しみながら考え続けることで、思考力や問題解決能力、自ら学ぶことができるようになって考えています。

### 理数系科目の基礎

運動やエネルギー、力や図形など理数系科目の基礎概念を体験を通じて学ぶことができ、のちの発展的な学習に役立ちます。

### 自ら学ぶ力

「創りたいから学びたい」というカリキュラムを通じて、学ぶ楽しさを学びます。

### 問題解決能力

議題を解決するために、問題を小さく分解し、情報収集や試行錯誤、意思決定を繰り返し粘り強く取り組む姿勢を育みます。

### 論理的思考力

STEMONのプログラムでは、様々なものづくり課題において、物事を順序立てて考えたり、情報の構造を組み立てるトレーニングがたくさん含まれています。

### 自己肯定感

プログラミングやものづくりは、すぐに反応・結果を見ることができ、うまくいった時の喜びはお子様の自信や自己肯定感を育みます。

### キャリア教育

将来どのような仕事についてもITを活用できるか否かで、仕事の成果が大きく変わります。社会で活躍するためのITスキルを身につけることができます。

#### ●レベル1（1年目）

物理の基礎となる原理を学び、ものづくりを通して自ら学ぶ力を育みます。

#### ●レベル2（2年目）

理科やプログラミングの発展的課題に取り組み、挑戦を通じて粘り強さと数学的思考力を育みます。

## カリキュラム

### プログラミング

- ・コンピューターサイエンス
- ・プログラミング基礎
- ・順次処理
- ・繰り返し処理
- ・条件分岐
- ・ゲーム開発
- ・ロボット制御

### エンジニアリング

- ・平面と立体
- ・重心について
- ・てこ
- ・滑車
- ・車輪と車軸
- ・時間と距離と速さ
- ・重量(重さ)
- ・力と運動

# 学習プログラム

TEACH



## 基礎的な学力を伸ばす

小学生低学年の時期に必要な学習する習慣や学習が楽しいと思えるようになる3つのプログラムをご用意しました。中学受験で実績のあるSAPIXの通信教材を使って自学自習を行う「ピグマキッズ×KBC」タブレットを使ってお友だちや全校のライバルと対戦しながらゲーム感覚で計算力をつける「計算マスター」子どもたちが、楽しみながらゲームのように、自分の考えを組み立てていく、「数学パズル」「日本語パズル」お子様に合う学習方法をご選択ください。





中学受験で抜群の実績と定評のあるSAPIXの1年生～4年生の通信教育(算数・国語の厳選プリント)を使用し、小学生低学年の時期に必要な「思考力」「記述力」の向上を目指した、自学自習型の学習プログラムです。自分で考え抜く力、できたときの楽しさを感じながら継続して学習することにより、低学年の時期に必要な基礎学力が定着します。専門の研修受講した講師がお子様の算数・国語の学習をサポートします。

※ピグマキッズ×KBCを受講される場合は、受講人数管理のため、片仮名フルネームと使用教材の学年を講座主催会社のピグマキッズ(株式会社日本入試センター)へ報告することに同意いただきます。

### ▶ 図形問題

ゲーム感覚で図形に触れ、立体を認識する力を養います。

### ▶ 論理問題

パズル形式の問題を通して、条件整理や論理的思考力を養います。

### ▶ 語彙力・読解力

言葉のさまりや意味、語彙力、説明文などの文章の読解力を養います。

## 2つの科目・3つのコース

科目: 国語・算数(週1回 / 45分×2)

Primary

小学1年生  
教材使用

Standard

小学2年生  
教材使用

Advanced

小学3.4年生  
教材使用

## 計算マスター

タブレット端末とネットワークを活用し、計算の基礎学習・反復学習のやる気をも高める講座です。学習履歴をもとに、自分の学力にぴったりのライバルや他のスクールのお友だちとリアルタイムで対戦しながら学習できる講座です。単調になりがちな計算練習を楽しく競い合いながら取り組むことができます。事前学習をして講座(コンテスト)に臨むことで学習の成果を実感できるため、学習意欲を高める効果が期待できます。コンテストの問題は公立小学校の進度の復習になる範囲から出題されるため、学校で習っていない問題は出題されません。万が一わからない場合はコーチがサポートをします。

※計算マスターを受講される場合は、講座内で優秀な成績を収めた受講者のみ、所属店舗・ニックネーム(下の名前)が講座主催会社(FLENS株式会社)のWEBサイトへ掲載されることに同意いただきます。



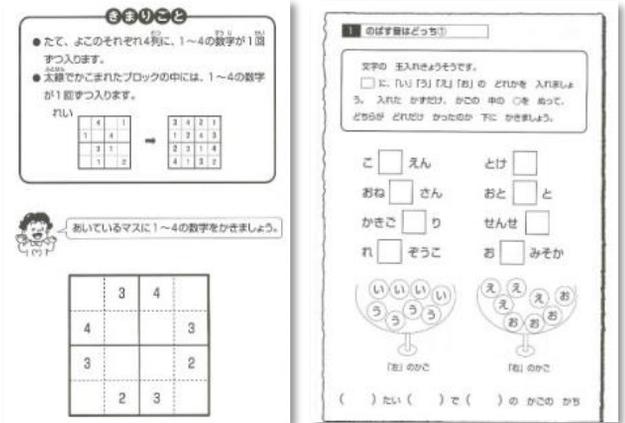
## 数学パズル・日本語パズル

### 数学パズル

パズル形式で楽しみながら数字や図形を学習します。自分の力で考えを組み立てていく勉強を通じて、論理的思考力や空間把握力が身につく、あきらめずに最後まで粘り強く考え抜く力を養います。

### 日本語パズル

パズル形式で楽しみながら「ことば」を習得し、語彙力を増やしていきます。また、語彙力が増えていくことによって豊かな表現力、思考力、読解力の向上へとつながっていきます。



コミュニケーション講座(レギュラー講座)

---

年間カリキュラム



# コミュニケーションベーシック

月	プログラム(予定)
4月	<p>【温かいクラスの雰囲気づくり、クラス内発表の練習】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●楽しいグループゲームで温かいクラスの雰囲気を作ります。</li><li>●自分の好きなもの嫌いなものをワークシートにまとめ、自己分析を行います。</li><li>●自己紹介をすることにより、人前で話すことの楽しさと達成感を味わいます。</li><li>●お友だちへのインタビューを通して、他者に関心を持ち、質問をする方法を学びます。</li></ul>
5月	<p>【自分の意見を理由とともに発表する】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●一番簡単な意思表示である「好き」「嫌い」を通して、自分の意見を理由とともに伝えます。</li><li>●「なぜならば」という意見の述べ方や、人前で発表する際の姿勢について学習します。</li><li>●コーチが指定したテーマに対して好きか嫌いか考え、意見と理由を発表します。</li></ul>
6月	<p>【相手により伝わる理由の付け方】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●コーチから出題されるテーマ、質問に対して、自分の意見とその理由を答えます。</li><li>●理由を「楽しいから」で終わらず、「どこが楽しいのか？」など、1ステップ掘り下げて考える習慣をつけます。</li><li>●「連想ゲーム」など様々なミニゲームを通して、柔軟な想像力、発想力と多面的な思考力を楽しく養います。</li></ul>
7月	<p>【課外講座「町探検」の事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●町に関する特定のテーマに基づいて調査を進め、レポートにまとめます。</li><li>●また、町の大人へのインタビュー内容を考え、自分たちの知りたいことを聞き出す「質問力」を高める練習をします。</li><li>●グループワークを行い、メンバーで協力して意見をまとめる力を身につけます。</li><li>●インタビュー内容を理解して、メモを取る練習を行います。</li></ul>
8月	<p>【課外講座「町探検」の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●7月に集めた、情報をもとに町探検を行います。</li><li>●駅や商業施設でのインタビューを通し、社会でのコミュニケーションを体験します。</li><li>●インタビューの結果や調査した内容をレポートにまとめ、夏休みの自由研究として提出できる成果物を作成します。</li></ul>
9月	<p>【説得力のある理由を考える①】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●さらに高度なコミュニケーション技法として、「メリット」「デメリット」の考え方を学習します。</li><li>●「晴れた夏の日」「子どもが外で遊ぶこと」「夏休みがあること」など、指定のテーマに対して、自分の意見をまとめ、発表します。</li></ul>
10月	<p>【説得力のある理由を考える②】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「ペットを飼うこと」「習い事をする事」「毎日宿題があること」など指定のテーマについて「賛成」「反対」いずれかの立場に立ち、「メリット」「デメリット」を活用して、意見と理由を発表します。</li><li>●より詳細の理由を述べ、意見の質を向上させます。</li></ul>
11月	<p>【説得力のある理由を考える③】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●自分の意見を複数の理由でサポートできるようにします。</li><li>●「話の論点」の概念を学び、「学校の昼食が給食であること」「ランドセルで学校に行くこと」など、複雑なテーマでも論点をずらさずに理由を述べます。</li></ul>
12月	<p>【説得力のある理由を考える④】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「子どもがお手伝いをする事」などのテーマに対し定義を設け、前提条件を意識した意見を述べる練習をします。</li><li>●意見と理由に個人的な体験談などの具体的なエピソードを加え、聴き手がより共感しやすくなる発表に挑戦します。</li></ul>
1月	<p>【プレゼンテーションの準備①】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「お父さんお母さんをお願いしたいこと」をテーマに、自分のプレゼンテーション内容を選定します。また、それらの理由づけを行い、これまでの学習をもとにプレゼンテーションを組み立てます。</li></ul>
2月	<p>【プレゼンテーションの準備②】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ワークシートを使いながら、プレゼンテーション原稿を作成します。</li><li>●声のトーン、間の取り方など、プレゼンテーションスキルを身につけます。</li></ul>
3月	<p>【プレゼンテーションの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「プレゼンテーション」のリハーサルを行います。</li><li>●ビデオ撮影したものを自分自身で振り返り、講師と一緒にフィードバックを行います。</li><li>●「プレゼンテーション」の本番撮影、保護者の皆様へお渡しします。</li></ul>

# 子どもスピークアップ

月	プログラム(予定)
4月	<b>【自分の意見の要点を探す】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●1年目に培った意見の組み立て方をもとに、特定のテーマに関する自分の意見を整理し、文章で表現します。</li><li>●文章から、意見のポイントを抜き出し、コンパクトでわかりやすい主張へとまとめる練習を行います。</li><li>●「自分の意見をわかりやすく表現する力」「情報編集力」を養います。</li></ul>
5月	<b>【他者の主張・論点を理解する】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●ワークシートを使ったグループワークを通し、他者の主張・論点がどこにあるのかを読み取ります。</li><li>●ディスカッションに向けた意見のキャッチボールの素地を養います。</li></ul>
6月	<b>【論点をずらさずに応対する力の育成】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●他者の主張を聞き取り、主旨や論点を汲み取る練習をします。</li><li>●論点のずれない有意義なディスカッションを行う練習をします。</li></ul>
7月	<b>【ディスカッション実践:企画型、問題解決型のディスカッション】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●1年目からこれまでに学んできた、「発想力」「表現力」「理解力」を活用し、実践的なディスカッションを行います。</li><li>●実際に子ども達がKBCαで生活している中で、課題と認識している点について解決方法を話し合います。</li><li>●「イベントで保育園の子どもたちが楽しめるイベントをは何か？」など、企画型のテーマの話し合いにも挑戦します。</li></ul>
8月	※キッズコーチが議長となって子どもたちの意見を引き出し、議論を深めていきます。 ※全員が納得できる結論にたどり着く過程で、自分の主張を一方向的に言うだけではない、ディスカッションの大切さを学びます。
9月	<b>【インクラスプレゼンテーション①】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●クラス内でのプレゼンテーションに向けて「自分の好きなもの」など特定のテーマに準じたトピック選定を行います。</li><li>●キッズコーチの助けを借りながら客観的データを収集し、より説得力のあるプレゼンテーションの素材を集めます。</li><li>●「客観的事実」「具体的エピソード」をまとめ、相手に共感してもらえるようなプレゼンテーション制作を開始します。</li></ul>
10月	<b>【インクラスプレゼンテーション②】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●10月に集めた資料を基に、プレゼンテーションの原稿作成をスタートします。</li><li>●聴き手が理解しやすいような文の運びを考え、原稿を読む練習を行います。</li></ul>
11月	<b>【インクラスプレゼンテーション③】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●自分の一番伝えたいことが聴衆へ効果的に伝わるよう、姿勢、表情、声の使い方、ジェスチャーなどをはじめとした高度なプレゼンテーションスキルを体得します。練習では自分のビデオ映像を見ながらフィードバックを行い、発表に向けた質の高いプレゼンテーションの実現を目指します。</li><li>●収録した動画は後日保護者の皆様にお渡しします。</li></ul>
12月	<b>【スピーチコンテストに向けた準備①】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●3月のホールでのスピーチコンテストに向けたテーマ選定を行います。</li><li>●11月までの学習をもとに、プレゼンテーション原稿を作成します。</li></ul>
1月	※子どもスピークアップでは一年間の学習の集大成として「スピーチコンテスト」を実施します。
2月	<b>【スピーチコンテストに向けた準備②】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●原稿を暗記し、スピーチに向けた実践的な練習を行います。</li><li>●コーチより生徒一人ひとりに個別指導を行い、スピーチ内容の精査、プレゼンテーションスキルの確認を行います。</li></ul>
3月	<b>【スピーチコンテスト】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>●身につけたプレゼンテーション力を活かし、不特定多数の聴衆に向けた公式な場でのプレゼンテーションの機会を設けることで、「子どもたちの成功体験」と、「社会で活躍できる土台となる力」の育成をめざします。</li></ul>

# 子どもスピークアップアドバンス

月	プログラム(予定)
4月	【セルフイントロダクション/プロから学ぶ】 <ul style="list-style-type: none"><li>●TEDスピーチを鑑賞し、「良いスピーカー」の振舞いとはどういうものかを学びます</li><li>●自己分析を行い、相手に自分を印象的に伝えらえるような自己紹介をします。</li><li>●お互いの自己紹介(スピーチ)に対しフィードバックを行います。</li></ul>
5月～6月	【ディベート】 <ul style="list-style-type: none"><li>●プレゼンテーション+ディベートの論理的思考を複合した「プレゼンディベート」を行います。</li><li>●正解のないテーマに対し、自分は肯定派か否定派かを選び、論理的に自分の意見を発表します。</li><li>●相手を説得できるよう、「具体的・現実的・論理的」であることを意識した立論を行います。</li><li>●毎回授業のはじめに1分スピーチを取り入れ、身の回りの出来事をユーモアを交えて発表します。</li><li>●身近で社会性の高いテーマについてチームで議論し、肯定派・否定派でディベートを行います。</li><li>●制限時間のある中でディベートに取り組むことで、瞬発的な思考力を養います。</li></ul>
7月～8月	
9月～10月	【ソーシャルディスカッション】 <ul style="list-style-type: none"><li>●環境問題など、社会性の高いテーマについてクラスでディスカッションをします。</li><li>●社会問題についての理解を深め、また現在起こっている課題を調べ、考察します。</li><li>●社会問題に対して自分達ができる解決案を提案し、まとめ、発表します。</li></ul>
11月～12月	【スピーチコンテスト原稿作成】 <ul style="list-style-type: none"><li>●年度末のスピーチコンテストに向けて、準備を開始します。</li><li>●子どもたちが自分たちのコミュニティにおいて、各自が改善したいこと、問題を感じていることなどを、スピーチコンテストのテーマとして決め、それに対する自分の考えを論理的にまとめます。</li><li>●「人の心を動かすスピーチ」ができるよう、効果的な言葉、表現、構成を意識して原稿を完成させます。</li></ul>
1月～3月	【スピーチコンテスト】 <ul style="list-style-type: none"><li>●コンテストでの発表に向け、効果的なスピーチの方法や姿勢について学習します。</li><li>●声のトーンやジェスチャーなどについても、講師からだけではなく子ども同士でフィードバックを行い、相手のスピーチから影響を受け、相互成長を目指します。</li><li>●スピーチコンテストに向けて繰り返し練習を行います。</li></ul>

# コミュニケーションマスター

月	プログラム(予定)
4月～8月	【ソーシャルアクション①:プランニング】 <ul style="list-style-type: none"><li>●SDGsについて学習をします。国連の設定する「持続可能な開発目標」を学習し、身の回りにはどのような課題があるか模索します。またSDGsテーマから1つを選び、調べ学習をしたの後、実際の解決案を検討します。</li><li>●夏休みを利用し、社会団体の活動に参加するなど、課題解決に向けた取り組みを実際に体験します。</li></ul>
9月～1月	【ソーシャルアクション②:調べ、まとめ、身近な社会への発信】 <ul style="list-style-type: none"><li>●夏までに身につけた知識や体験活動をまとめます。また、夏の体験も踏まえ最終的な解決案をまとめます。</li><li>●近隣店舗や地域の人々など、身近な社会で自分たちが考えた解決策を提案・発信します。</li><li>●チームでのプレゼンテーションを最終成果とするため、それに向けた発表の分担や資料作成なども、チーム内でコミュニケーションをとりながらプロジェクト形式で進めます。</li></ul>
2月～3月	【スピーチコンテスト】 <ul style="list-style-type: none"><li>●10か月かけてまとめ上げた資料やデータをもとに、プレゼンテーション資料をブラッシュアップしていきます。</li><li>●身近な人だけではなく、対外的なシチュエーションで発表することを念頭に置き、聞き手の心に訴えかけるプレゼンテーションに挑戦します。</li></ul>

